

## ○水稲除草剤は効果的に使いましょう！

近年、水田雑草の取りこぼしが多く見られます。**水稲除草剤を適期に散布**し、確実に雑草を抑えましょう。

### 【共通のポイント】

- 1 小動物による穴や崩れがないよう丁寧に畦塗りをし、**漏水防止**に努めましょう。
- 2 代かきを丁寧にし、**田面を均平**にしましょう。
- 3 除草剤は風の強い日を避けて均一に散布しましょう。
- 4 水口と水尻をしっかりと止め、水深5cm以上に湛水し、除草剤を散布しましょう。
- 5 除草剤の効果を高めるために、**散布後7日間は湛水管理**を行いましょう。また、田面が露出したら、ゆっくりと入水（足し水）しましょう。

※除草剤は種類も多く、散布時期や散布回数、散布方法が異なります。散布の際は必ず【営農のてびき】P.34～41を確認して下さい。

### 【移植のポイント】

- 1 代かきから田植えまでの日数は3～5日を目安とし、**1回目の除草剤(初期剤、1回処理剤)は田植え後5～7日頃**（代かきから10日以内、※初期剤マーシェット1キロ粒剤は8日以内）に散布し、雑草を取りこぼさないようにしましょう（図1）。
- 2 補植は田植え後すみやかに、**除草剤散布後はほ場に入らない**ようにしましょう。
- 3 **例年、雑草が多いほ場は2回目の除草剤**も散布しましょう。
- 4 2回目の除草剤散布前には、水の入れ替えと酸素供給のため、2～3日程度の軽い田干しを行いましょう。1回目除草剤散布の15日後頃を目安にサンパンチ1キロ粒剤やテッケン1キロ粒剤等の中期剤を散布しましょう。

5月						
日	月	火	水	木	金	土
4/28	29	30 代かき	5/1	2	3 田植え	4 補植
5	6	7	8	9	10	11
		← 10日以内		→		
			← 1回目除草剤散布適期 →			
12	13	14	15	16	17	18
19	20 軽い田干し	21	22	23	24	25
				← 2回目除草剤散布適期 →		

図1 代かきから除草剤散布までのスケジュール例

**【直播のポイント】**

**〔鉄コーティング〕**

苗立率を高めるため、播種後8日間以上は湛水しない

雑草の発生状況に応じて、中期・後期剤を散布

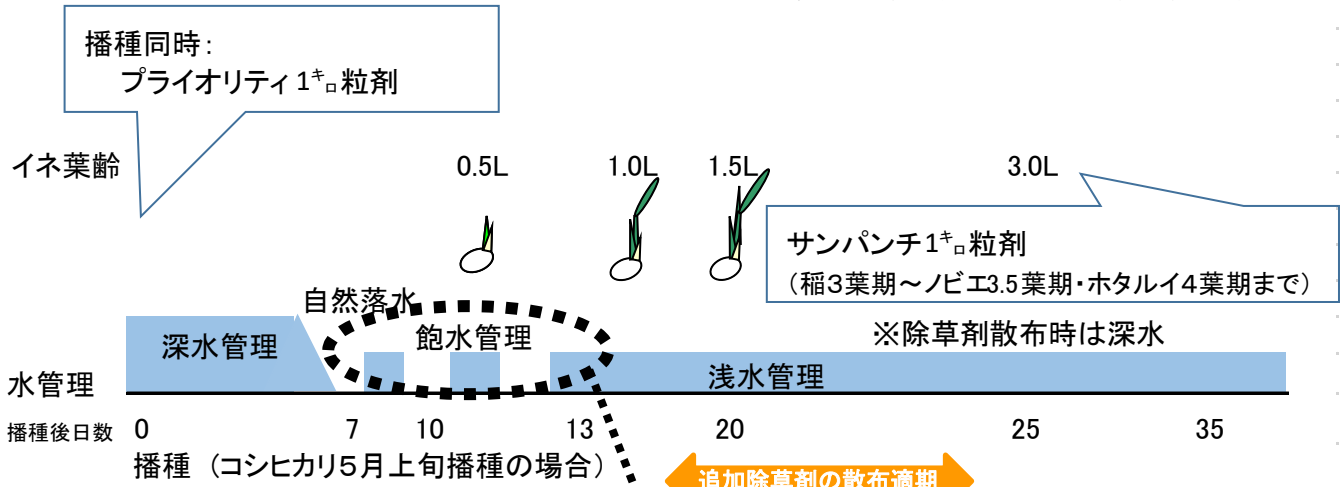


図2 播種後の水管理のイメージ (鉄コ)

干しすぎると除草剤の効果も半減



雑草の発生が多い場合は追加散布

- ・クリンチャー1<sup>kg</sup>粒剤 (播種後10日～ノビエ3葉期まで)
- ・アクシズMX1<sup>kg</sup>粒剤 (稲1葉期～ノビエ4葉期まで、ホタルイ4葉期まで)

**〔カルパーコーティング〕**

プライオリティ1<sup>kg</sup>粒剤  
(入水後、水が落ち着いてから)

雑草の発生状況に応じて、中期・後期剤を散布

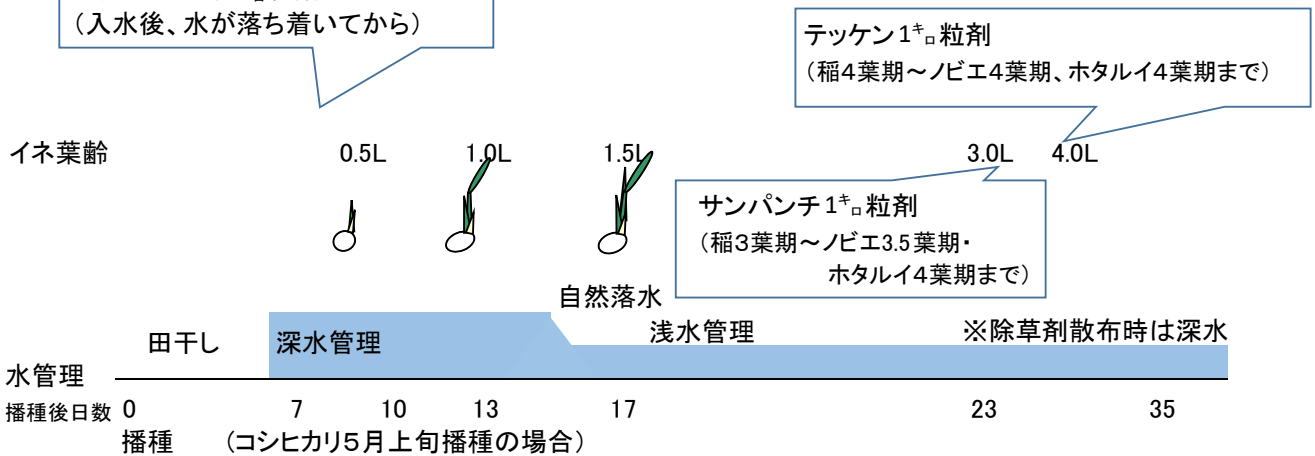


図3 播種後の水管理のイメージ (カルパー)

※お問い合わせは、JA なんと営農部(62-0261)または砺波農林振興センター(32-8147)へ

**富山県農薬危害防止運動実施中**

**～4月1日～9月30日～**